

# WORKSTATION TIMES

2017 May vol.12



今年も！成績優秀者表彰式が行われました！！



2017年5月19日(金)、外国語教育センターワークステーションにて、平成29年度外国語教育科目成績優秀者表彰式が行われました。英語分野では、TOEICスコアの全学部あわせての上位3名、各学部上位3名が表彰されました。初修外国語分野では、各言語成績優秀者上位3名が表彰されました。副学長の出口先生や外国語教育センター長の廣瀬先生をはじめ、外国語教育の先生方に見守られながらの表彰式でした。

表彰式後は担当教員や受賞者との歓談を楽しみました。教員とのつながりや学部を越えてのつながりができ、今後の言語学習も励ましあいながら続けていってくれることを期待しています！



# 英語スピーチコンテストが開催されます！

今年で第5回になりますが、島根大学長杯英語スピーチコンテストが開催されます。各々オリジナルの原稿を作成してスピーチするので、スピーカーは知識やスピーキング力、プレゼン能力など、さまざまな能力を深めることができます♪

また、英語高度化プログラムに入っている方は、観覧するだけで60ptゲットできます！この機会にぜひ、参加してみてください。

日時：6月18日（日） 13:00～

場所：教育学部2階 20番教室



**第5回 島根大学長杯 English Speech Contest**  
**英語スピーチコンテスト**

平成29年度の外国語教育センターの企画として、「第5回島根大学長杯英語スピーチコンテスト」を開催します。  
人前で英語を話す良い機会となりますので、是非、スピーカーとしてご参加ください。  
また、聴衆としての参加も大歓迎です！

**2017 6/18(日) PM1:00～**  
場所/教育学部棟2階 20番教室

- スピーチのテーマは自由です。  
社会問題のみならず、各人のこれまで経験した感動的な出来事、あるいは将来の夢を自由に英語で語ってください。(3分～5分程度)
- ネイティブスピーカーがサポートします。  
原稿の作成段階から、発音の練習に至るまで、個別にネイティブスピーカーの指導が受けられます。
- 自分の話す力が分かります。  
ネイティブスピーカーが審査し、改善点を示した審査表をお返しします。

**優秀者には**  
表彰状及び  
(豪華)副賞  
を授与します。

**事前にお申込みください**

参加資格：島根大学 学部生(医学部含む)、大学生、英語を母語としない留学生(短期留学生を含む)  
参加申込：外国語教育センターワークステーション(教育学部北玄関へ入って右すぐ)  
募集人数：20名程度  
申込期限：5月19日(日)午後6時  
問合せ先：外国語教育センター 係長 池田  
TEL: 0852-32-6212 E-mail: hirose@soc.shimane-u.ac.jp  
聴衆としての参加は、事前申込の必要はありません。

主催/島根大学外国語教育センター

## ☆北京語言大学短期留学体験記2017年2-3月☆

〈法文学部3回生 大櫃彩花〉

私は今年、2月終わりから3月終わりの1ヶ月間、北京語言大学に留学しました。中国語副専攻の一環で行ったのですが、私にとって初めての海外…不安と期待とが入り混じるとはまさにこのこと、という感じでした。

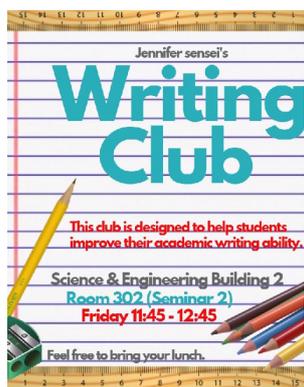
北京に到着すると、空気の綺麗さに驚きました。汚染などと言われていたものの、やはり現地に来なければわからないことがあるなあと思いました。その日から1ヶ月、中国語に囲まれながら中国語を勉強しました。環境のおかげか、日本で勉強している時より上達するスピードが違うなと(特にリスニング!)、少し感動しました。学習・交流だけでなく、おいしい中華料理や娯楽なども楽しめた、大変有意義な留学でした。



# ランチクラブ特集！！見逃していませんか？

〈English〉	Contents	Teacher	Classroom
Wednesday	English Lunch Club	Jenifer Salsgiver	総理棟2号館3階 302
Thursday	マンガで学ぶ英語表現	Satoru Fukamachi	教育棟3階 371
Friday	Writing Club	Jenifer Salsgiver	総理棟2号館3階 302

〈汉语〉	内容	老师	地点
星期二	漢詩文鑑賞・朗吟サロン	孙树林	総理棟2号館3階 302
星期三	漢語秀倶楽部	王欣	教養棟1号館 201



## 新しいStudent Supporterが仲間に加わりました！

～新参者から一言～

法文学部言語文化学科英米コース3回生千々松瞳です。新入りです。フロリダプログラムにも参加したので、もし留学で悩まれている方がおられたらぜひ声をかけてください。

元々いるサポーターも引き続きお仕事をします。わからないことがありましたら気軽にお尋ねくださいね♪



はじめまして。留学生の日本語科目を担当している佐藤です。今日は、私が「異文化って面白いな」と感じたエピソードを紹介したいと思います。私は落語が好きです。授業でも、みんなで「小噺（こばなし）」を覚えて発表するという活動をする場合があります。小噺は、落語の一種で、短い笑い話です。落語と同様、一人で演じます。使うのは扇子と手ぬぐいだけで、あとは顔の表情や身振り手振りで話の世界を表現します。以下は「何でもします」という演目の小噺です。この小噺を、みなさんが演じるとしたら、登場する学生と神様をどのように演じ分けますか。学生が神様をお願いする場面、神様が学生に語りかける場面、どのような身振り手振りで表現するでしょうか。

【何でもします】 学生：「神様、私の日本語を上手にしてください。」

神様：「何でも言うことを聞くか？」

学生：「はい、何でもします。」

神様：「じゃあ。毎日、勉強しなさい。」

インドネシア人の女性は、両膝を地面につき、両手の掌を上に向け、顔は天を仰ぐ格好で学生が神様をお願いをする様子表現し、神様が学生に語りかける場面は、腕を組み、眉間に皺をよせ、少し低い声で話すことで表現しました。次に演じたインド人の女性は、掌を合わせた合掌で学生が神様をお願いする様子表現し、神様が学生に語り掛ける場面では、胡坐をかき、右手を胸の前あたりに、左手を膝の上におき両手の掌を正面に向けた状態で、薄目を開けて話す姿で表現しました。それぞれ異なる神様が登場しましたが、2人とも、しっかり観客の笑いをとって高座を降りました。彼らが演じる小噺を観なければ、私の中で、この小噺に出てくる神様は「日本の神様」だけだったでしょう。「神様」と言われて想像する神様は国や地域によって異なることを改めて実感しました。そして、演じる人、小噺を聴いている人、それぞれ想像する神様が違って、学生と神様のやり取りに同じ「面白い」という感情を抱くことに感動しました。文化は違って根本的なところは共通しているのだと実感しました。異文化に触れると新しい発見があります。それらは、他者を理解するだけでなく、自分自身の理解にもつながります。みなさんも近くにいる留学生に声をかけてみてください。きっと「異文化って面白いな」と思う体験に出会えると思います。

